

第3章 西アジアの物語

3-1 トルコ

背景

ーエジプトの半独立 セルビア自立 (1817) ギリシャ独立 (1830)

・セリム3世

ー西欧的近代化政策

・マフムト2世

ーイエニチェリ廃止 1826

・アブドゥル=メジド

ータンジマート開始 1839

行政・軍事・司法・教育の西欧化を目指す→費用が膨大で成果上がらず

・クリミア戦争 1853-56 : ロシアがオスマン帝国内の正教徒保護を口実に干渉

ーオスマン帝国の勝利 ロシアの南下政策も一時挫折

ー財政破綻→経済的従属下へ

cf ナイチンゲールの活躍 赤十字運動の気運高まる

・ミドハト憲法の発布 1876

ー宰相ミドハト=パシャ

ーアジア初の憲法 二院制と責任内閣制

・露土戦争の勃発と同時に憲法停止 1877

ーアブドゥル=ハミト2世の専制

ーロシアの勝利→ベルリン条約: バルカン半島の領土の大半が独立

・青年トルコ革命 1908

ーミドハト憲法復活

ーアブドゥル=ハミト2世 廃位

青年トルコ内閣成立